



表紙の写真
「身延山久遠寺の枝垂れ桜」

南巨摩郡身延町にある日蓮宗本山。日蓮上人(1222~1282)が建長5年(1253)立正安國の旗を掲げて開宗。以来幾多の災厄を受け、佐渡流罪を経免された後、文永11年(1274)ここ身延山西谷に庵堂をかまえたのが久遠寺の起りである。

標高1,153Mの身延山にいだかれ、その山頂近くには奥の院(思親院)。また中腹には大本堂そして両邊には30ほどの坊(僧侶の住居)が点在し、山全体が霊山として信仰されている。

身延川にかかる朱雀橋の太平橋から門前町を作り、程なく行くと、日本三大門のひとつ三門である。身延橋三門をくぐり直進すると287段の石段、それを上りきったところが久遠寺である。

4月桔旬になると、境内一面が桜で満開となり多くの観光客が訪れる。表紙は、祖師堂近くで咲き誇る見事な枝垂れ桜である。その下で「銀桜会(かんおうえ)」も開催される。

(写真と文:森田圭吾)

[MUH] vol.4 1995.4.1

企画/早野グループ「MUH」編集室

高沢謙・矢田道生・杉平靖雄・久保田充一
編集/株式会社ニュースメディア甲府

三神弘・三井君男・五味剛・清水広子・石原由
里子・高山ひとみ/日本工業経済新聞社
印刷/有限会社オズプリント

誌名の「MUH」は、早野組の社訓である「和」を託した
Mate(仲間)、Union(結束)、Harmony(調和)の漢文字
からとりました。幻のムード音楽のロマンを目指します。

フォーマム

テーマ 時計(とけい) 江宮隆之・吉屋久昭・岩崎正吾・佐藤真佐美

2

特集

山梨21秋 山二葉 氏(生活評論家)

4

ホスト早野潔

増大する女性の「幸せ」度この50年の社会変化

女性の視点を社会に反映さらに自力で生きるために

データ 女性と社会環境

トピックス

地震銀座山梨ができる事は…

10

企業ウォッチング

三和電線工業株式会社 小泉 晃治 氏

13

サークル活動

甲府市の食事サービスをすすめる会

14

インフォメーション

早野組・トヨタビスタ山梨・トヨタホーム山梨・甲府通運

16

ようこそ薬局

雨宮敬次郎の歩み 上野晴朗

18

アートへのまなざし

名画に描かれた動物たち3 山本育夫

20

トレンド

Gastronomy(食道楽)の追求!

BOOKコーナー

22

リレーエッセイ

かつての遊廓の街 増山町 依田 弘

24

近代陸上運送の歴史をさぐる(4) 林陽一郎

25

ユーザー訪問

学校法人 鹿野苑学園・永照寺幼稚園

26

山梨特集

金子昭仁・澄子さん(一宮町)

28

ホームあらかると

まちがいのない家づくりー耐震ー

29

おしゃれ フラワー・ギャラリー甲斐

たべる サザンカ

30

PHOTO EYE くらしのなかの感動さがし

コラム

某月某日 阪神大震災について

32



タイムメリット

江宮隆之

歴史を調べていると、時に「へえ」と思われることがある。確かに知っていた、もしくは知っているはずの事なのに改めて驚かされるのだ。

例えば時間である。江戸時代には旧暦が使われていて、時間区分も現代とはまったく違っていたことはよく知っている。一昼夜を分けてそれを6等分する不定時法によると「一刻(いっとき)」の時間そのものが違ってくるというのである。

「一刻」が、季節や場所によって異なるのである。例を上げると、夏至のころ、昼の一刻は約2時間40分もあり、夜の約1時間20分とは、1時間以上もの差があったことになる。

この差が頭に入らなければ、小説を書く場合にも、読む場合にも不都合が生じてしまう。つまり、不定時法とは日の出から日没までを昼とし、それから日の出までを夜として、それを等分して「一刻」と定めたのであって、現代のように1日は24時間、1時間は60分とはっきり決められていたわけではなかったのである。

江戸時代、人々は日の出とともに起き、日の入りとともに(酒飲みや夜の仕事を持つ人々のような人間を除いて)休んだ。健康で、自然の摂理に則った生活の営みをしていたのだ。

そこには時間を上手に使う知恵もあったに違いない。

閉話休題(ちょっと一息入れて)

金丸信さんが副総理の頃である。金丸信の記者たちが一番悩まされたのが金丸さんの使う甲州弁であった。「リニア・モーター カー」を「リビア」と呼んでは悩ませ(外遊の記者会見では外人記者を「アッ」と驚かせた)、「皆で相談して」を平気で「まるかってやる」と言うのであった。「レベル(水準)」を「ラベル」と涼しい顔で言う金丸さんの極付けは、「タイム・メリット」なる用語。「タイム・リミット」の誤用だが、江戸の時間活用同様にこちらの方が正しい使い方のような気がするのは何故だろう。

■1948年増穂町生まれ 山梨日日新聞記者を経て現在同社編集局長「経済記」で第十三回歴史文学賞受賞 著書に『走る指』など 近著の『白鳥の人』は日本と韓国同時発売で話題を呼ぶ 第8回中村屋湖賞受賞

時報の合唱

古屋久昭

甲府はオリオン通りの一角に、「古時計」という、居酒屋と呼んだ方がピッタリきそうなスナックがあった。ママさんがたいそう美人だったことや、店の雰囲気もよかったですから、大いに盛っていた。また、「古時計」という名前だけのことはあって、さすがに古い柱時計が所せましと飾ってあった。

店には一週間に一度ぐらいは通つただろうか。時に遅くまで飲んでいて、深夜12時になったりすると、さあ大変である。柱時計が一斉に、ポンポン、ジャンジャン、ベンベンと大合唱を始めるのである。それぞれ少しずつ鳴り出すものだから、その間、5分ぐらいは鳴り続けてしまう。もちろんその前の11時、10時、9時だって一斉に鳴り出すことは同じである。

この柱時計の大合唱を面白がるか、うるさくとるかは次第だが、あるとき気むずかしい酔払いにでもひどく怒鳴られたのであろう、いつしか柱時計の二つ三つだけが鳴るようになってしまった。

スナック「古時計」は、やがてママさんがいい男を見つけてしまったことからいともあっけなく店仕舞をしてしまった。

考えてみれば、柱時計全盛の時代には日本中で一斉に時報の大合唱があったということになる。ただし、一軒に一個の柱時計であるから、その家にとっては合唱とまではいかず独唱なのである。

ところで、柱時計が一斉に鳴り出す話とは反対に、一斉に止まってしまうという話には恐怖や悲劇がつきものである。

大正12年9月1日午前11時58分、昭和20年8月6日午前8時15分、同9日午前11時2分、そしてごく最近、つまり平成7年1月17日午前5時46分、といえばもうお分かりいただけるであろう。

時計の針が一瞬にして一斉に止まってしまうということは、すなわち世界の死を意味する。この点、柱時計の大合唱などは、そのときたとえ「うるせえ」と怒鳴られようが、平和な「時の象徴」ではなかったか。

■1943年御坂町生まれ 日本現代詩人会会員

時計なんかもってない

岩崎正吾

中身のないサイフはいらないが、時計なんかもって必要ないと思ったのである。

いささか唐突な話だが、ある時、腕時計のベルトが切れた。いたんは修理に出そうとも思ったが、面倒だから時計なんかいらないという気持ちになった。そこで突然、わが腕から時計が消えたのである。

初めは、さぞ不便になるだろうと自分でも思った。人と約束しても、時計がないと時間を守れないかも知れない。そもそも大切な飯の時間だって、わからなくなるだろう。

しかし、もう半年以上経つが、とりわけ不都合ということはない。朝というより私の場合、昼近くになって目が覚める。時計を見なくたって、ちゃんと目が開くのである。心配した食事の時も必ずわかる。要するに睡眠も空腹も、体内時計というやつが知らせてくれる。社会的な約束ごとの方も、今のところ、何ら不都合はなく過ごせている。考えてみれば、腕なんかに重たい時計をつけていなくても、今の世の中いたるところに時計がある。車に付いているし、街頭にだってある。

時計を持たないことの効用も、ばつばつ現れてきた。時計を見て食事の時間だとしていたのが、腹が減ったら食事にする。時間が来て仕事をやめるのではなく、疲れたら本日はお仕舞いということだ。つまり備わっていた体内時計というやつが、研ぎ澄まされて来るのである。

自然における時の流れ、太陽の動き、日没、風の変化、季節の変わりなどを敏感に感ずるようになる。時の流れを時計の針で理解するのが現代人なら、自然の移り変わりなしで捕らえようとしたのが昔の人達である。つまり私は、昔の人たちの方法で、時の流れを理解しようとしているのだといえよう。

時計を取り去ってみれば、あることにより失ったものの大きさを思い知る。すべからく私たちは身辺の物の必要性、近代の文明というものを疑ってみるべきであろう。

■1944年甲府生まれ 地方出版社「山梨ふるさと文庫」を設立「横溝正史殺人事件あるいは悪魔の子守歌」でミステリー作家としてデビュー「闇かがやく島へ」で角川ミステリー・コンペ グランプリ受賞 近作「貴族本舗・信長殺すべし」(講談社)

青春時代

佐藤真佐美

日本が戦争に負けてから、今年はちょうど半世紀。それを意識しつつ、三浦継子の『鉄口 上・下』(小学館)という小説を読んだ。感銘深かった。一読をすすめたい。といってこの稿で、懐かな戦争のことを揶揄し正義論ぶろうというのではない。同著の主人公北森竜太が、師範学校を出て新任地へ赴任するとき、恋人の芳子に目覚まし時計を贈られ、下宿先で朝目を覚ますたびに彼女を思い出す。という女心の仕掛けが贈らしく姫ましく。それを読んでつい、青春時代のある風景を思い出出してしまった。

ぼくの出身校は男子専科の農業高校で、女性といえば寮の炊事のおばさんか養護教諭だけ。いずれも母親ほどの年齢で女を意識するにはほど遠い、と思っていたにもかかわらず、ほどなく並以上の美人に見えてきたからいじましい。といって彼女たちを誘惑するところまではいかず、せつない思いを指先に託していたのだ。寮の同室に東北出身のすごいニキビ面の男がいて、彼は性欲を覚えると豚小屋へ走る。獣姦…つまりトンカツなのだが、いずれズーズー弁を話すニキビ面の人面豚が生まれるのではないかと。ぼくは本気でキョウフしたものだ。

そのころは女物の腕時計をはじめることが「おれには女がいる」ということの証明であった。もっとも当時腕時計は高級品で、もっていられない女の方が多い。ぼくはなぜか女運が悪く、やむなく自前で質流れ品を手に入れた。といっても腕時計は高かったので、目覚まし時計を買った。その足で、当時札幌のススキノにあった名画上映館に入った。「モロッコ」か何かをやっていたと思う。戦地へ赴く兵隊のあとに従い、なじみの娼婦たちが鍋・釜をひきすぎて続く。じーんとくる場面で、そっと目頭をぬぐう光景が始まった。そのとき、静まりかえった会場に、けたたましいベルの音が響いた。ぼくのナップザックの中からではないか。

非難ごうごうの周囲の目。慌てふためくぼくの手をとり、さつと立ち上がったのは、隣り合わせた若い女性であった。彼女は、ススキノの歌楽街勤務であった。その後どうしたかって?さあ…。

■1939年北海道生まれ 日本児童文学者協会・日本児童文学研究会会員 著書に『怪奇! 大東京妖怪ゾーン』(ポプラ社)、『文ちゃんのはるかな知床』(北海道新聞社) 近著に『栄光ふたたび—山梨学院大学跡横駅伝物語』(山梨ふるさと文庫)など

変化する現代女性の幸福観
「男女協働社会」の提唱
男と女いい関係の社会づくり

ゲスト
あきやま ふたば
秋山 二葉氏

ホスト
はやの きよし
早野 潔
早野組社長

**増大する女性の「幸せ」度
この50年の社会の変化**

早野 女性の社会進出がいちじるしく、かつ新しい分野で実績を上げています。私どもの早野グループにおきましても、建築・設計の有資格者や、インテリアデザイナー、また、店頭販売の専門家、経理事務士といった才能が芽生えています。従来は

男性の専門分野だといわれてきた運送業にも、女性が活躍はじめています。

かつて「次に生まれるとしたら男がいいか、女がいいか」という問い合わせに対して、多くの女性が「男」と答えた時代がありました。今では3分の2の女性が「また女がいい」と答えるというアンケート調査がありました。女性の「幸せ観」も変わってき

ましたね。

秋山 今年は戦後50年、国連活動50年、婦人参政権獲得50年と、女性の生き方、社会のあり方を考える節目の年です。おっしゃるように、キャリアウーマンが増え、女性の「幸せ観」も変化しました。

なんといってもこの50年で一番変わったのは、日本人の生きる姿勢です。とりわけ、女性の生きる意識が変わりました。結婚をして「家事と育児が女性の天職」という時代が長かったのですが、民主主義という平等認識を背景に、女性自身のライフスタイルが変化してきました。雇用の窓口も開かれました。自分自身で人生を考え、自立する芽が出てきたといつてよいでしょうか。

早野 先生は大学を卒業されたあと高校の教師をされ、その後、山梨では初の女性新聞記者として活動をはじめられました。ジャーナリストとして女性の目で社会をみてこられましたが、その生き方自身が、女性の自立、社会参加の変遷であり、先駆者といっていいと思います。

決して恵まれた道筋ではなかったたと思いますが。



早野 潔

■秋山 二葉

生活評論家 1934年甲府市生まれ。日大卒。新聞記者、山梨県消費者生活コンサルタント、甲府市社会教育主事などを経る。各社婦人団体アドバイザー、山梨県人権擁護委員、山梨英和学院同窓会会長。

秋山 社会に挑戦してみたいという意欲が強かったです。記者の採用は2名でしたが、その1人に女性の私を探してくださいました。フェミニストな社長であったわけです。

当初は女性であることから、取材もままならなかったですね。進歩的であるマスコミも保守的、つまり、男性社会でした。「私、トロッコじゃあございません、キシャです」などと冗談を言いつつ、それは懸命でした。

**女性の視点を社会に反映
さらに自力で生きるために**

秋山 私「男女協働社会」という理想をよく申し上げるのですが、その発想は、あの記者時代から培われたものだと、いま振り返って思います。女性の立場からものを見、表現することにも心がけました。

ある日のことです。目を泣き腫らし、赤ちゃんを病院に連れていく途中の奥さんと出会いました。どうしたのかと訊ねると「哺乳瓶で赤ちゃんに乳を飲ませていたが、そのうち様子がおかしくなり、吐くやら、息も絶え絶えになってしまった、主人からは育児法が悪いとたいそう叱られた」と言うの

です。

この発端である哺乳瓶の乳首を調べてみると、今でいう欠陥品でした。たかが乳首といつてはならないと、その時、思いました。赤ちゃんにとっては命綱です。

消費者運動が盛んであれば、そうした問題は摘発できるのでしょうか。その当時はそうしたものはありません。さっそく医療メーカーを訪ねるなど、取材を開始しました。私はこのことを新聞の家庭欄で大きく取り上げました。このことがきっかけとなって、厚生省ではその後、乳児の成長段階によって乳首の穴のサイズを規定することを決めました。

早野 確かこの時、厚生大臣賞を授与されましたね。新聞の報道の誌面づくり、視点の向け方も、大きい事件が優先され、ささやかな、だが重要なもの、ことに女性の世界に関するものはなおざりにされてきたかも知れませんね。

秋山 女性が社会参加をすることが、実は、もっと広く、男性も女性も、若いも若きも、人が大切にされる社会づくりの実現につながっていくわけです。

女性に経済力がなかったことも、自立のさまたげになってきましたね。いわゆる「貰って暮らす」という状況でした。今では女性の社会参加が可能



秋山 二葉 氏



ように、労働基準法や育児休業法が組み入れられていますが、さらにそういう権利、つまり、女性が気持ちよく働く環境を整えていく必要があります。

自分を高めたい、学びたい 本当の女性の社会進出とは

早野 女性の社会参加の質を高めていくためには、これからどんなことを心がける必要がありますか。

秋山 女性が社会の場で、もっと評価され、認められていくことでしょうか。そのためには、女性もただ権利を主張するだけではいけませんし、周囲を気にして「だんまり屋さん」になっていることもよくありません。

男性の女性批判のなかに、視野が狭く、思想的には幼稚で、政治にも無関心という指摘があります。確かにうなずくところは多いのです。職場でも、ただ働きさえすればいい、与えられたものをこなす、というのでは困りますものね。

もっと発想の転換、創意工夫が必要で、自立というからには、単に家庭の経済的補助、また、結婚のための準備ということをこえて、仕事に

も、目的と充実を求めていくべきです。

早野 女性の生き方をひとつには括れませんが、そのなかで、「働く母親というのはエネルギーだな」と思ってくれる人たちがいます。健康にも関心をもち、健康である限りは目的をもって生きたい、自分を高めるために学習したり、地域にも貢献をしようということをボランティア活動にも参加する。

そうしたバイタリティーのある女性の生き方の潮流というものが、近

年、顕著ですね。

秋山 女性は結婚に全てをかけるけれども、男性は結婚に自由をかける、という言葉があります。しかし、女性も家庭をもち、経験を踏むことで、見えてくるものがあります。たとえば、花嫁修業として料理やお茶、お茶の稽古をしたものが、ある時から、自分の能力の開発をするために、ということに変わってきます。

学ぶ女性が増えていますね。そして社会のなかで目覚め、発見をしていきます。

自己実現をめざす女性が多くなったわけですが、ただ、ここに問題が生じ、それが最近の離婚の多さにつながっているといわれてもいます。

早野 女性の幸福観も、世代によって変わっていくわけですね。

1プラス1は2の関係 「男女協働社会」の実現

早野 そこで大切なのが「男と女、いい関係の社会づくり」。先生の提唱される「男女協働社会」ですね。

秋山 女性の問題も時代とともにテーマが変わってきた。かつては男女の差別撤廃とかでしたが、やがて、男女の社会参加が促されました。そして現在は、男女が共に生きるという男女共生が叫ばれ、社会から家庭まで、見直される傾向になりました。

私は、この男女が共に生きることを一歩進めて、協同して働く、つまり「男女協働社会」ということを言ってみたいのです。これは、男女が対等の場で、男性の力と女性の力が

2分の1ではなく、1プラス1で2にして、社会を創造していくこうというものです。

早野 グループにおかれても、女性の技術者、有資格者が増えたというお話を冒頭にありました。キャリアウーマンが多くなっています。企業においても「男女協働社会」が実現したなら、どんなに有益で、素晴らしいことでしょう。

早野 そうですね、近年、社会から支持を受けている企業、進展している企業というのは、この問題をよく考えています。また、社員の自覚がありますね。

秋山 これまで、男性が築き上げてきた素晴らしい父性文明でした。これからは、母性も文明を創っていくなければなりません。そして「男女協働社会」というからには、女性は社会を広く知り、心を豊かにすること、学ぶ意欲が問われます。生涯学習が活発ですが、これからは学ばなければ生きていけない社会なのではないでしょうか。

身近な例を挙げるなら、日々の買物にしても、生活の質の見直しが必要で、安心で商品価値のあるものを

識別できる知識がなければいけません。悪徳商法に、安易に騙されてしまうようではいけませんね。さらには、公害に影響のない生活のあり方を実践できるようでなければ困ります。

早野 公害問題や福祉、育児などの面では、女性の視点での提案や企画を社会に反映してもらいたいですね。

秋山 そうなんです、今では、女性に期待されている分野は広いんです。システムキッチンなど、女性の体験と細かな神経が技術によって活かされ、大変働きやすいものが誕生しています。また、高齢化社会に対応した住まいづくりや機械器具など、女性の設計によって新しいあり方が実現はじめてもいます。椅子ひとつ、階段ひとつにも、男性の力と女性の力が2分の1ではなく、1プラス1で2にしていく領域がすでに広がっています。

早野 そのためには、男女が、もっと仲良くしなければいけませんね。音楽会や芝居へ行っても、会場は女性ばかりですからね。共に感動する心が大事ですね。

理想の女性像、男性像 もっと仲良く分かり合いたい

早野 女性の意識的な生き方、社会への挑戦というお話しを伺っていて、これは、もしかしたら「男女協働社会」を共に創るべき男性の方が、女性をまだよく知らないのでは、という危惧をもちました。女性の幸福観についても、まだまだ知っているようで、知らないところがあります。

現代において、いったい理想の女性というのはどういうイメージなんでしょうか。

秋山 最近の調査ですと、女性の立場からは、仕事ができて柔軟な女性、というのが条件です。柔らかさを求めているんですね。あまり肩肘はって、モーレツに働くばかりの人ではありません。仕事と女性らしさの定位置をきっちりもついている女性ということになりますと、どういうことになるのでしょうか。

早野 では、理想の男性像ということになりますと、どういうことになるのでしょうか。

秋山 これがまたおもしろくて、女性は、「誠実な、やさしい人」がいい、という答えです。あまりに平凡で、気が抜けてしまいますが、表現力がないのでしょうか。

早野 いえいえ、ふくみのある、謎の言葉でしょう。

興味深いですね。

秋山 もうひとつは、自立した女性で、意思表示がはっきりできる人です。クニヤクニヤした軟弱な女性は嫌というわけです。

男性からみたよい女性の条件は、男性に従属しない女性である、という点です。やたらに従ってしまう女性は好ましくなく、何でも「はい」というのは困る、というわけです。ただ、おもしろいのは、料理のうまい人がいいと、条件をつけ、期待している点です。

自立していく、かつ、料理がうまい、というイメージです。これに対する論評は避けますが、現代が見えてくるようです。

早野 では、理想の男性像ということになりますと、どういうことになるのでしょうか。

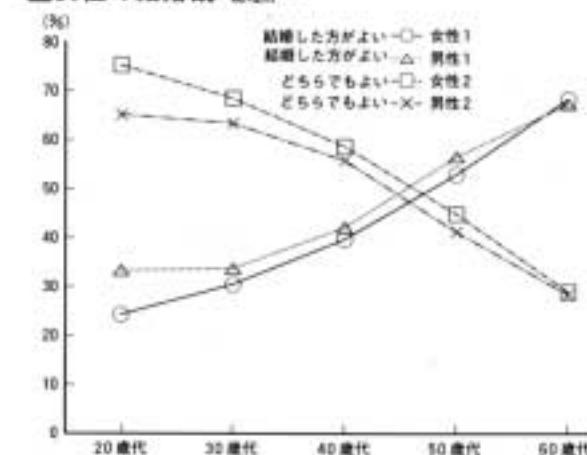
秋山 これがまたおもしろくて、女性は、「誠実な、やさしい人」がいい、という答えです。あまりに平凡で、気が抜けてしまいますが、表現力がないのでしょうか。

早野 いえいえ、ふくみのある、謎の言葉でしょう。

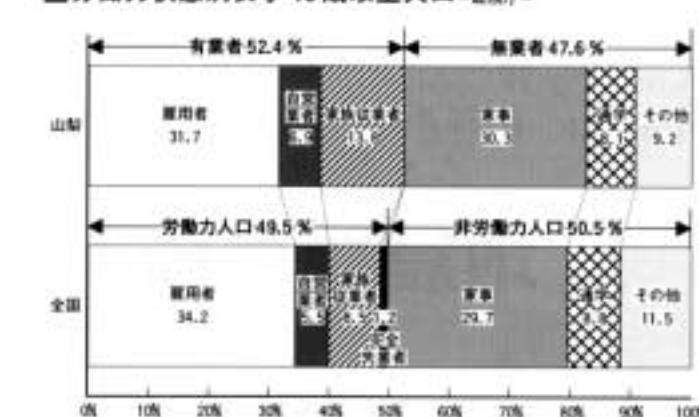
[構成：三神 弘]

データ山梨21

■女性の結婚観—総務省—



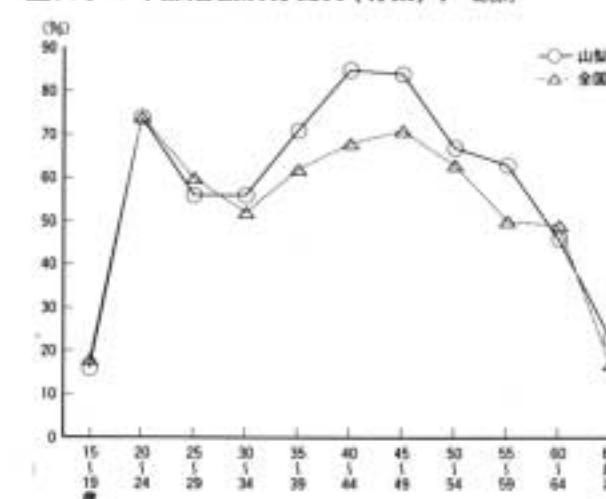
■労働力状態別女子15歳以上人口—総務省—



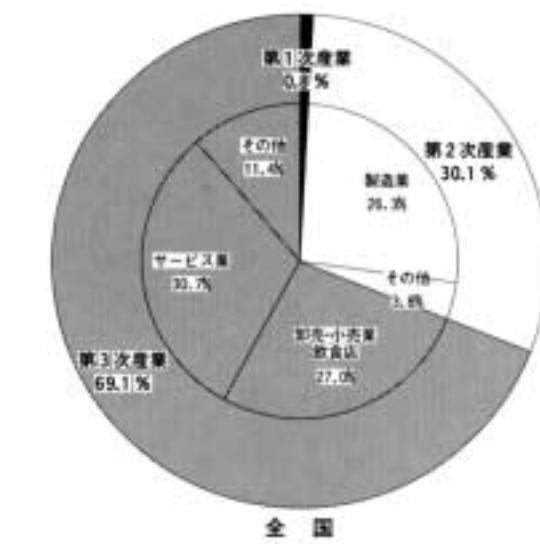
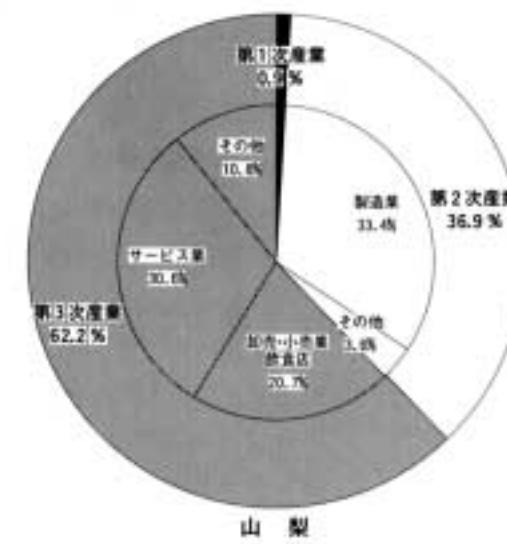
■世代別にみた生き方の変化

	社会観	人生観	価値観	生活観
20代女性	自由に生きられれば	楽しければ	金持ちで豊か	のんきに暮らしたい
30代女性	家族の平和こそ	立身出世	多彩であれば	マイホーム
40代女性	世のため人のため	心豊かで平穡であれば	物より心	欲しがりません

■女子の年齢階級別労働力(有業)率—総務省—



■女子雇用者の就業分野(産業別)—総務省—



サンフランシスコ ロサンゼルス そして神戸
大都市を襲った大地震の恐怖…
近未来に予測される南関東・東海地震のその時

地震銀座山梨ができる事は？

死者、行方不明とも空前の被害となつた阪神大震災。多くのメディアがその生々しい状況を伝えている。被災された方々には謹んで哀悼の意を表したい。

東海地震がここ数年来俎上にのぼるにつれ、地震については、山梨県民の関心は強い。県をはじめとする行政側も発生を想定した、防災計画の見直しを進めている。今回のトピックスでは、対岸の火事とは言えない、地震について取り上げてみた。

地震大国ニッポン

地震、雷、火事、親父？とは言い古された言葉だが、古来から地震は日本人にとって恐怖の対象であった。歴史の中で天災と呼べるものは枚挙にいとまがないが、このうち特に地震については、江戸時代の、元禄16年と安政2年に江戸を襲つた（13代将軍徳川家定の時代）大地震を筆頭に、伏見桃山時代、やはり大阪、京都を中心に大被害を与えた“慶長の大地震”などがつとに有名だ。

前者の江戸の震災では、マグニチ

ュード6.9の規模で、今の江戸川、江東区の直下を震源に、当時700万人と東洋一の人口を誇った江戸の街が一瞬のうちに壊滅したという。また、近畿地方に甚大な被害を与えた慶長の大地震では、明国と交戦中だった豊臣政権の屋台骨を揺さぶった。死者は数万に及び、名城として名高かった伏見城も見る影もなく倒壊したという。菊亭大納言の当時の日記によると、前兆として、大彗星が地震前の京都に出現し、数日間もの間、光り輝いていたとある。

直下型地震の恐怖

今回、近畿地方を襲つた地震は、いわゆる直下型と言われるものだ。この直下型は、東海地震のプレート型とは違う。プレートとは陸地を支えるまとまった岩盤のことで、同地震は、日本を西から東へ乗せているユーラシアプレートと、東から西へ乗せているフィリピン海プレートがぶつかりあってその反発で起きると言われている。このプレート同士のぶつかりあいによってできる地殻の割れ目のことを断層といふ。断層は数千年から数十万年に一度といふ

が遠くなるような周期で動くものがある。これが今回の阪神大震災の直下型を引き起こした、いわゆる活断層といわれるものだ。日本には1,500に及ぶ活断層が確認されている。この断層が実に厄介なもので、地質学者などは俗に「地震の巣」とも呼んで警戒を呼びかけている。

要注意の活断層

日本には特に、今後大規模に運動すると思われる断層群が4つある。神奈川県中央を横断する国府津ー松田ー神縄断層、静岡県から本県にまたがる富士川断層、長野県中央アルプスを縦断する伊奈谷断層、そして今回の原因となった野島、須磨寺断層を含む六甲断層がそれである。

本県の活断層

震度6以上が予想される南関東地震の対象地域である県東部をはじめ、実は活断層の密集地帯として本県は要注意なのだ。県内の主な活断層は、県北部を縦に走る塙尻ー莊崎構造線、甲府盆地西部の市之瀬台地断層線、県中央を横断する曾根丘陵断層群、北都留郡下を走る鶴川断層、藤ノ木

愛川複合断層群、道志村付近を神奈川県へ抜ける道志川断層群などがある（図参照）。

実は本県では、これらの断層を含む地震災害に関しては、対岸の火事とは言えない。昭和54年には、フィリピン海プレートのズレによる東海地震の発生が、その後、前述の断層のズレによる県東部地震、関東地震などの発生が次々に想定されており、いわば“地震銀座”的な様相を呈している。

特に道志川断層が原因によって発生すると言われている直下型県東部地震は、これまで昭和51年にマグニチュード5、同58年にマグニチュード6、同63年にマグニチュード5.6と活発化してきている。

また、東海地震についても、56市町村が防災対策強化地域に指定されており、県が算出した想定被害でも家屋倒壊2万世帯余、土砂崩壊1,070箇所、人的被害100人前後が見込まれている。

このほか県では、道志川断層によって発生が想定される南関東直下型地震の被害予想を現在調査しており（消防防災課）、これも今夏には公表される見通しだ。



巨大地震にどう対応するのか

このように活断層型にせよプレート型の地震にせよ、現在の地震科学では、実質的に地震の予知は非常に難しいと言われている。やはり地震の果と言われているギリシャなどでは、地殻が発する電磁波の異常によって地震の予知に取り組んでいるところもあるにはあるが、100%という確率ではないようだ。

このように予知が難しいというのであれば、事後の対処が命運を左右する要素になる。マスコミが行った調査によると、今回の地震で被災した殆どの人々が火の始末をはじめ、ドアや窓を開ける、机の下などに潜るといった、一般的な対応ができないと回答している。揺れの大きさと

インパクトで呆然自失としてしまって理性的な判断ができない、パニック状態になってしまっている——ということ。

- ①飲料水の確保
- ②照明の確保
- ③非常食の確保

といった被災した人々が痛感した、実際に基本的な心構えがどれ程大切かということを今回の震災は物語っている。ちなみに救援物資で重宝がられたものを列記すると、紙オムツ、生理用品、毛布、簡易コンロ、医薬品などなのだろう。

阪神大震災は、災害報道の在り方からはじまって、都市計画の在り方、緊急災害での行政の対応も含めて多くの課題を山積した大震災であった。

〔文：新谷敏之〕

東西南北

山梨を拠点として、限りなく拡がるステージ....

物流の世界も、ただ、「物を運ぶ」というだけでなく、様々な付加価値の創造が必要とされる時代になってまいりました。物流に伴う様々な事業をトータルにクリアする体制の充実。さらにサービスの向上を目指す新分野の開拓にと、限りない挑戦は続いています。どんな物でも、どこへでも安全に運ぶ....。流通の基本の上に拡がる世界をご利用下さい。



事業内容

- 一般貨物輸送…一般、常用、専属
- 重量品輸送…取付け、取りはずし搬出入作業
- 入出荷請負…荷造り、梱包作業、出向代行業務
- 引越し輸送…ご家族のお引越し、事務所・工場の移転等
- JRコンテナ輸送取扱い
- 一般貨物全国定期便、宅配便、航空便取り扱い
- 保険代理業務

甲府通運株式会社

本社 〒409-38 山梨県中巨摩郡田富町流通団地3329-1
TEL.0552-73-0611 FAX.0552-73-9332
田富営業所 〒409-38 山梨県中巨摩郡田富町流通団地3211-11
TEL.0552-73-5471 FAX.0552-73-6277
東京営業所 〒174 東京都板橋区東坂下2-3-10
TEL.03-3967-6001 FAX.03-3967-6124

企業ウォッチング

三和電線工業株式会社

三和電線工業株式会社・甲府工場長

小泉 晃治 氏

●三和電線工業株式会社／企業データ●

昭和7年の創立以来、室内・外の配電線から新規線のケーブルまで、両社の製品は広く分野で活躍。その性能と技術は電力沿線のお墨付きまで、東京電力も導入NTT、JX、日本海事協会など多くの企業から製品の認定を受ける。中でも、合成ゴムやプラスチックの両系統の品種は幅広く、伝統と実績のある信頼性の高い製品づくりを誇りとしている。

平成3年には古河電気工業の連結子会社となり、市場の進行シェアはトータルで約40~45%を占める。現在工場で製造している製品は、自社ブランドが80%、残り20%が古河ブランド。

甲府工場では約600種類を年間300トン生産。多品種少量のため品質管理には特に力を入れ、社員一人となって徹底的に取り組んでいる。現在はCN(甲府工場リニューアル)の進捗に向け、15億円を投資し、今年の一月には新工場がオープン。上半期までは製造メソッドの確立、世界レベルの技術の開発と意識に燃えている。甲府市荒川二丁目15番1号。



三和電線工業株式会社。社名だけ見ると、「読んで字のごとく、電線を作る会社でしょ? 直接私達が触れる商品じゃないわよね」と思われる。電線なんて個人じゃ購入しないし、まず売ってくれない。スズメが3羽留まっている、あの電線を想像してしまうけれど、本来(それこそ読んで字のごとく)“電気を通す線”的こと。その用途は多岐にわたっていて、特に奥様族にとっては毎日の生活でなじみ深い製品なのです。

例えば電気掃除機。工場長の小泉氏によると、「一番厄介な製品」なんだそう。人間と一緒に動き回り、電源コードなんかも延長が自由自在。リールの中から引っ張りだし、使い終わったらシェル、シェルっと掃除機の中へ…。清掃範囲が広ければ広い程コードは苛酷に使われ、それを補強し長持ちさせるためには特殊な技術を要します。掃除機だけに限らず、電気ジャー、洗濯機、冷蔵庫、エアコンなどなど、家電には全てその用途を十分考慮した上で開発された“電線”が使われているのです。生活が日々電化する一方で、私達を安全に快適に住まわせてくれる立役者の存在、それが三和電線工業株式会社なのです。

オリジナルの技術で時代を先取り!

同社が開発した特殊技術は、電源コードはもとより、電力ケーブル、船用電線、車両用電線など、ありとあらゆる分野で駆使されています。導体などは1.6~2.2mmが一般とされているなかで、0.1~0.45mmとその構成をより細く開発することに成功。それを数百本より合わせ、ポータブル(移動可能)製品に使用している

んだそう。メイン製品は産業機器用のもので、製造の4分の1を占有。ここ甲府工場では、比較的インフラ関連の機器が多く、ゴム線などは民需の得意先をかなり持っているとか。今では受注生産が全体の約8割を占め、ユーザーのニーズや技術に対応した製品作りに日々励んでおり、と小泉氏。最近、外国製のものがかなり進出してきつつあり、日本のハイテクも次のステップへ需要が問われてきましたね。21世紀には、同レベルにはなるはずですよ。それまでに日本個ができる努力はしていきたいですね。

QC(品質管理)でグレードアップ!

小泉氏曰く、「当時地場では有名、優秀な会社だった」同社へ、昭和42年、大学の先輩の紹介により入社。今では甲府工場長として、品質管理に重点を置き、3A職場(安全、明るい、アクティブ)づくりに尽力している。

「品質管理においては古い歴史がある、昭和39年に東京通産局長から工業標準化実施優良工場の表彰を受けた下地があるので、山梨大学ともコンタクトを取り、山梨県品質管理研究会で勉強するなど積極的にやっています」。社員の自主性を重んじ、励ましながら活動している。

若い人のアイデアは多彩で貴重だと語る氏。「個人的に相談を受けられるような上司になりたいですね」と、仕事抜きの付き合いでもトコトン面倒をみてくれそう。

趣味は盆栽。とってもフランクで、どこかに暖かみを感じさせてくれる、そんな方でした。[取材: 真壁仁美]

甲府市の食事サービスをすすめる会

高齢者に手づくりの食事を
調理配食するボランティア活動

長生きすることが幸せであるために 高齢者に温かで心のこもった食事を

健康食品がファッショントイプのように人気を呼び、スポーツクラブも繁栄している。健康を尊び、健康を気づかう時代である。医療も質を高めている。だが、長生きをすることが幸せであるかどうかは、別の問題となる。

「山梨は全国的にみても高齢化が進んでいます。甲府にかぎっても、65歳以上の高齢者世帯はおよそ6千世帯。しかし、これらのお年寄りのうち何人が、栄養面、心理面で満足のいく食事をしているかと考えると、心もとないばかりです」

と、会長の出山治子さんは危惧する。高齢者は豊かな食事への願望はありながら、老いとともに心身機能が衰



献立は真心を込めた手づくりの味わい 季節の風情も盛り込まれ創意に満ちている

え、食事づくりの手を抜かざるを得なくなる。まして障害者の環境は、ことに深刻である。

「食事をしっかりと摂っていれば、病気の多くは予防できるはずです。痴呆さえ回復するといわれています。まさに食事の充実こそ、生きることの根源といえます」

こうして「甲府市の食事サービスをすすめる会」が発足し、ボランティア活動がはじまった。平成4年のことである。だが、お手本はない。学習や情報収集からはじめるほかなかった。

この頃、すでに全国の88市町村においては、すでに食事サービスが実施されていた。とりわけ福岡県春日市などでは、15年以上も前から、1日2食の配食が年中無休で行われていた。会のメンバーは早速視察に出かけた。

「甲府市においても、せめて1日1食、栄養のバランスのとれた、心をこめた温かい食事をお届けしたい、そう切に思いました」

甲府市らしい方法を模索するため、行政、社会福祉協議会に働きかけ、ボランティア活動をとおして実践すべく呼びかけた。いわゆる、市や市民の肩代わりである。

第1回の無料食事サービスの試みは、平成5年の2月から5週間、毎週火・金曜日に実施された。対象は、ホームヘルパーが派遣されている在宅の1人暮らし老人、寝たきり老人など、食事づくりが困難な世帯、およそ130名。これを支える調理・配食ボランティアには97名が参加した。



食事づくりに困っている高齢者のためにボランティアは心の数だけ増えている

ボランティアで実現する社会の理想 配食訪問で気づかう健康と生きがい

食事サービスの調理は、旧甲運第2保育園の調理室を利用する。広さも調理器具も、決して恵まれてはいない。知恵と、創意工夫に頼るしかない現状だが、この4月、食事サービスは第7回を迎えた。ボランティアのメンバーも170名と増え、食事サービスの期間も週4回、年間を通じて行う予定になっている。対象者も広げ、希望があれば食材費400円で提供しようとの機運もある。「奥さんが病んでしまえば、高齢のご主人は看護が大変なうえに食事がつくれません。ご主人を亡くした女性も、張り合いを失くして食事をつくらなくなります。弁当や店舗ものは、若い人と違って料理内容がお年寄りには不向きです。いやとうなく食事は粗末になったり、遅のいたりします。その結果、胃腸障害を起こしたり、体調を崩したりで、薬漬けになってしまいます」

カボチャを切れないほど力を失ってしまった、湯を沸かすのもおぼつかないお年寄りは大勢いる。配食サービスは、お年寄りを訪問し、病気や安否を気づかうことにもつながっている。

食事には、アンケート用紙が添えられている。お年寄りが精一杯にペンを握って書いた味わいの感想や、喜びの言葉が返信されてくる。ボランティアのメンバーは、心をあらたにし、困難な仕事への懸念を慎む。

「行政において食事サービスが制度化されるまで、そしてその日が早く来ることを願って活動を続けています」

市からの予算は、50万円にも満たないという。しかし、行政のあり方を問うだけでは何も解決しない。市民が望む社会を築くためには、広く理解を得る機会を創っていかなければならない。今年は、資金集めを事業の大きな柱にした。

◆「甲府市の食事サービスをすすめる会」◆

平成4年5月発足。在宅の1人暮らし老人・寝たきり老人、高齢者世帯ならびに重度心身障害者世帯のうち、特に食事づくりが困難と思われる世帯を対象に、手づくりの食事を届けるサービスを実施する。ボランティアは、主婦、学生、退職者など約170名。現在資金募集、都合に合わせて参加してもらえるピンチボランティアをふくめ、参加者を募集中。

会長：出山 治子

〒400 甲府市上石田2丁目27-21

☎ 0552-28-4005



「1人でも多くの人に」4月から新年度がはじまった

早野グループ4社から 一番ホットな情報を届けします

東京支店の新社屋が完成

新宿にありました東京支店が高速道路の建設予定地にあたるため、このたび移転することとなり、併せて支店業務の一層の強化をはかるため、八王子に建築しておりました東京支店の新社屋が完成し、4月12日に落成式が挙行されます。

八王子は本社に一步近づき施工管理面では従来より便利になりますが、営業面で全く新しいスタートとなるため、皆様のご協力をお願いいたします。尚新宿には新宿営業所を設けます。

◇新宿営業所 住所：東京都新宿区西新宿4-41-7 クレベール西新宿407 TEL：03-3376-2897 ◇新東京支店 住所：東京都八王子市千人町2-5-24 TEL：0426-67-8800 構造：鉄骨造 地下1階・地上3階 用途：地下1階 駐車場 1階 東京支店事務室 2・3階 共同住宅



■早野組
甲府市東光寺1-4-10 TEL 0552-35-1111

「トヨタカード」会員募集中

今年の1月から発行されている「トヨタカード」。すでにご存知の「トヨタカード」にはこんな特典がいっぱい。

●トヨタポイントプラス

ショッピングやお食事などにトヨタカードをご利用いただると、ご利用金額に応じてポイントをプラス。新車購入（リース契約含）時に最高20万円までキャッシュバック。

●シートベルト保険も自動付帯

いざという時に安心。最高1000万円まで補償いたします。その他レンタカー割引サービスや一般カードの初年度年会費の無料などの特典に加えて、さらに！トヨタビストラ山梨㈱で加入頂いた場合、当社独自のこんなメリットがあります。

1.一般整備 10% OFF

2.トヨタ純正部品・用品 10% OFF

3.くりかえし（再利用）

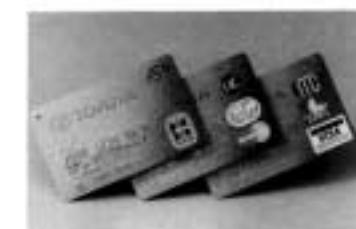
メリットとして

①12ヶ月点検時使用…E/Gオイル半額サービス

②車検時使用…E/Gオイル無料サービス

いいことづくめの「トヨタカード」会員になっていない方はいますぐトヨタビストラ山梨㈱へお申込みください。「トヨタカード」は、JCB・UC・ミリオンカードの3種類からお選びいただけます。

トヨタビストラ山梨㈱
本社：甲府市朝氣3丁目10-21 TEL 0552-32-5511



「トヨタホーム友の会」発足

住宅を建設するにあたって、2つの問題があります。

1つは土地の問題、もう1つは資金の問題。そこでトヨタホーム山梨㈱は、お客様への土地情報の提供を円滑にするため、県内の有力不動産会社12社と提携を結び、平成6年5月よりトヨタホーム不動産友の会を発足しました。

平成6年の1年間に甲府と昭和の住宅公園に来場された方のうちの25%が住宅を建設する際に新たに土地を購入しなければならないという調査結果がでましたが、トヨタホームはこうした有力不動産会社の協力、提携により土地を求めている方に、より詳しく正確な、また迅速に情報提供することができます。

また、資金面についても、公庫・年金・銀行ローン等を含めた中で、無理のない資金計画を提案させて頂きます。

トヨタ自動車がつくる信頼の家トヨタホーム。土地・建物の事なら何でもお気軽にご相談ください。

トヨタホーム山梨㈱
本社：中巨摩郡田富町例西1043 TEL 0552-75-1234

高速道路料金が値上げされます

平成6年9月20日に公團から提出された料金改定について、運輸・建設両大臣より認可され、全車種に係る料金水準の改定(7.2%)を本年4月10日から実施し、中型車及び大型車については暫定比率で定められている現行の車種間比率を平成9年1月16日までに段階的に本来比率に移行されます。

○改定率

H.7.4.10	軽自動車	普通車	中型車	大型車	特大型車	全車種
	7.2%	7.2%	7.2%	7.2%	7.2%	7.2%
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
H.9.1.16	7.2%	7.2%	(13.5%)	(10.04%)	7.2%	(8.5%)
					19.8%	13.6%
						9.7%

注()書は平成8年1月16日から平成9年1月15日まで

○過去の平均改定率

S50.4.1 66.5%	S54.8.1 24.6%	S57.6.1 15.1%
S60.10.1 9.8%	H1.6.1 8.9%	

甲府通運㈱
本社：中巨摩郡田富町流通園地3329-1 TEL 0552-73-0611

明治の黎明期 冒険投機商として
また鉄道事業に心酔し
甲武鉄道を甲府まで延長させた……

雨宮敬次郎の歩み

(あめみやけいじろうのあゆみ)

上野 晴朗

うえの はるお
1923年山梨市生まれ。歴史家・作家。私立図書館郷土資料室を経て、67年から文筆活動に入る。著書に『甲斐武田氏』等多数。

阪神大震災のニュースが報ぜられたとき、私はたまたま幕末から明治の歴史群像を書いていた最中で、小沢善兵衛と雨宮敬次郎の関係と生い立ちを追っていたので、この地震のニュースは特別に感銘深かった。

雨宮敬次郎は塩山市牛奥に弘化3年（1846）に生まれている。とくに彼が幼少年の幕末はことのほか大地震が多かった。たとえば天保元年（1830）の京都の大地震、弘化4年（1847）の信濃の大地震、安政元年（1854）の東海・東山地方の大地震、安政2年（1855）の江戸の大地震など、相次いで起こっている。

雨敬が生まれた翌年の信濃の大地震は、死者2万300人余といわれ、安政2年10月の江戸大地震は、町人の死者約4千人、武士2千人余というから、精確さは欠けるにしても、阪神大地震をうわまわっている。このように相次ぐ地震で痛めつけられると、被災者をいやす時代風潮も生まれ、庶民の間からも救いに走り、あるいは救いを求める世相を生み出す。

その上にこの幕末期は、近代の夜明けを告げる一大警鐘も次々に持ち上がっている。天保騒動から引き続

く、黒船渡来、そして鎮國から開国への維新の胎動が波濤となって押し寄せ、雨宮敬次郎はその影響を陰に陽に受け育っているのである。

その伝記『過去六十年事蹟』を見ると、「私は他人よりも少し先が見える傾がある」と、自信をもって述べているが、つまりこの不安な世相の中で時代を見る目を養ったことが、



雨宮敬次郎

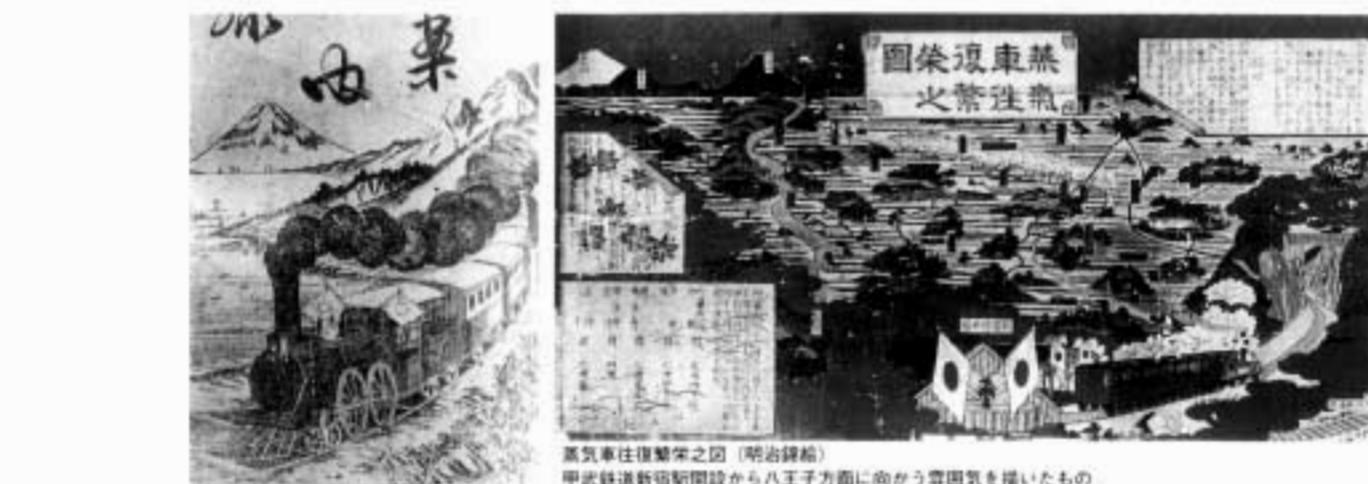
「天下の雨敬」の異名をとるまでに個性を培ったのである。たとえば同じ甲州財閥の人、根津嘉一郎には「天

下の鉄道王」の異名があるけれども、この根津に乗物を教えたのは、外ならぬ雨敬であった。

甲武鉄道時代、その推進者となつた雨敬はまだ若い根津に向かって、「事業は政治よりも生命がある。岩倉公の如き大政治家も、政治における功績は時と共に消滅するが、その興した日本鉄道は、日本鉄道の在る限り人の視聽から湮滅することはない。君等も相場などで一時の利を追うよりも、事業を經營し、事業を盛り立てて、其の利益を享受することにせよ」とアドバイスしている。

このように根津の先輩格であった雨敬は、文字通り中年以後、鉄道と製鉄に経営の重点を置き、甲武鉄道、川越鉄道、京浜電気鉄道、江ノ島電気鉄道などの大株主、重役となって活躍した。雨宮敬次郎の風貌がもっとも端的に現れたのは、なんといっても甲武鉄道の創設であった。

甲武鉄道の滥觕は、明治16年新宿～八王子間の馬車鉄道の出願に始まり、翌17年甲武馬車鉄道会社への請願となり、さらに汽車鉄（当時は本鉄道といった）として急浮上していった。これは明治19年に入って日本

中央線内パンフレットの表紙
明治35年ころのもの この汽車を雨敬が自家の近くに止めて駆逐將軍のように擋っていた

鉄道条例が生まれ、民間に鉄道が許されるようになったからであるが、しかし当初はあくまで馬車鉄のまま、区間は新宿～八王子間の計画案だった。

これに対して甲武鉄道を若尾兄弟と同じように、天秤棒で行商荷を担いで横浜や東京に足を運んでいた雨敬は、その苦闘を肌で味わいつくしていたから、八王子で路線を打ち切られてはたまらんと、さらに甲州街道沿いに甲府まで貫通させることを計画、昼夜をかけて甲府までいき、県令藤村紫朗にその意向を伝えて、県を上げて延長運動を展開するよう呼びかけた。

そうこうしているうちに、幸いなことに新宿～八王子の推進派大隈重信ら幹部の間に内部分裂がおこり、一派が別れて雨敬案にも目をつけ、独自に富士の裾野から信州に向かう甲信鉄道案なども浮上して、それまでの甲武鉄道株が大量に売りに出される事態が持ち上がった。そこにすかさず目をつけた雨敬は、会社株60万円のうち、38万円まで一人で買い占めてしまい、甲武鉄道の事实上のオーナーとして君臨するようになった。

こうして鉄道の工事が始まったの

は明治21年（1888）のこと、明治22年8月には八王子まで貫通、さらに小仏トンネルが掘り抜かれたのは明治24年6月のことであった。この辺りから山また山の峡谷となり、トンネル数じつに42か所、一番の難工事は全長4,640メートルの笹子トンネルで、当時日本一と騒がれた。こうして明治36年6月新宿～甲府間の開通が成ったのであるが、事業は順風満帆ではなく、沿線住民の反対運動なども激烈であった。たとえば養蚕と機業中心の上野原周辺の住民は、鉄道が通ったらその陸蒸氣の煤煙で、蚕も機業も駄目になると猛反対に立ち上がりっている。そのため上野原駅は町の中心部からはずされてしまったし、勝沼宿なども煤煙を心配して駅設置を反対、一宮方面に向かう案も立ち消えになった。

ひとり先見の明があり、時代を見る目があったのが、甲武鉄道の事實上のオーナー雨宮敬次郎、その反対のため彼の生れ故郷の塩山へ易々と路線を北向きに、迂回させることができたのである。

JR中央線の電車が勝沼から塩山へ向かい、二つのトンネルをくぐると、

路線は大きく曲線を描き塩山の方に向むが、そのとき左手の窓下に彼の生まれた牛奥の集落が見えてくる。雨宮葡萄園の看板も目に入る。彼の生家である。地元の伝承では、汽車が勝沼から塩山に向かって通過したとき、彼は駅でもないのに、突然第二トンネルを出たところで汽車を止めさせ、そこから歩いて我が家に向かったという。ちょうど冬の霜柱が一面に立っている季節だったので、村人達は慌てて畠中に真っ直ぐに筵を敷きつめて道筋をつくり、歩き易くして彼を歓迎したという。考えてみれば後にも先にも、自分の家の前で列車を止めさせた怪物は彼を置いてはかにはいない。

中央線が国有鉄道化されるのは明治39年のことであるから、甲武鉄道のオーナーとしてそれが自由に出来たのである。それにしても霜柱立つ霜の上を肩を張って進む雨敬の姿からは、満々たる自信と自負が漂ってくる。そこからは豪快な気風も窺え、文明開化の一花咲かせた怪物らしさも仄見える。郷里には雨敬新道、雨敬橋なども残されている。明治44年1月20日病没した。享年66歳であった。

名画に描かれた動物たち 3

ゴッホが描いた最後の絵の中を舞うカラスたち

山本 育夫

やまもと いくお
評論
ミュージアム・マガジン・DOME（ドーム）編集長

うごめく筆づかい

どうしようもなく心の奥底から噴きあがてくる焦燥感を、そのまま画面に叩きつけたかのように動き回る絵筆の先の青黒い絵の具。心の動きそのままにうごめく、左上から右下に伸びる筆づかい。画面三分の一を占める上部の青い空の下には、なだらかな山型につづく麦畑を表す黄色い絵の具。その麦畑を、左手、まっすぐ、右手、の三方に分かれて切り裂くように伸びている土道の茶色い絵の具。画面の上方と下方の端には絵の具の間からキャンバス地が、はだけた皮膚のような顔をのぞかせている。

フィンセント・ファン・ゴッホの、「カラスのいる麦畑」を見ていると、どうしても絵の具の「色としての性格」よりも、「物質としての性格」のほうが際立って見えててしまう。確かにこの絵にうごめくタッチは、ほかの作品とは異なる、ただならぬ気配に満ちて見える。青黒い空と左右二つの逆三角形の麦畑。そして、おそらくはゴッホが画架を立てていると

思われる手前の十字路のクロスする地点。ある人はこの十字路をキリストの張りつけにされた十字架と見立てた。この絵が見るものにその種の感情を誘うのは、すぐ間に「最後の自殺」という劇的な物語が控えていることを知っているからにはならないが、しかし、例えその事實を知らなかったとしても、やはり、ほかのゴッホの作品とは異なる、何か、を感じてしまう。それが、この絵でうごめいているゴッホのタッチによるものであることは、まちがいようのない事実であろう。

盛り上がる画面

しばらくこの絵に見入っていると、空と麦畑と土道が、中央から手前に盛り上がるよう迫ってくる感じに襲われるはずだ。遠近感がそぎ落とされてしまっているのは、もちろんなにものかにせきたてられるように押し上げられたゴッホ自身の感情が、絵画としての遠近感を成り立たせようとする企てを放棄させているからにちがいなく、それ故になお一層この絵は、画面の向こうにではなく画

画の手前に、それこそ物質の盛り上がり（絵の具の盛り上がり）という即物的なパワーをもあわせ持って迫ってくるように見える。そのちょうど只中を、右上の空の青黒い黒色から、いままで噴き出したかのように画面左手に向かって、一群のカラスが舞い降りてくる。不吉な鳴き声を交わしながら、次々に手前に、画面の手前に、つまりは、この絵を見ている僕たちの位置まで、次々に泣き叫びながら、手前に…。

この山型の太い線で描かれたカラスほど、鮮烈なカラスを見たことがない。それはただの線に過ぎないのに、つまり、鳥らしき描写もほとんど試みられていないのにもかかわらず、あたかも映画のクライマックス・シーンのように、なじみ深いゴッホの光景の中に出現する。

癒しとしての美術

もしもカラスがこの絵の中に描かれていなかつたらと仮定してみたらどうだろうか。僕たちはむせ返るような、極度に緊張した光景に向かい合うことになる。そこには前ぶれのよ

うに濃厚な孤独な気配が充満している。画面は最高潮

に達していく一分の隙もないほどに何かが充満している光景。だからこそこの光景を右サイドから左サイドに向けて吹き抜けるカラスの飛行が必要となっている。この対角線にひかれた動きこそが、紛れもなくゴッホを狂氣へと誘わずに押し止めていたカタルシスなのだ。このカラスこそが、ゴッホを現在に引き戻す「癒しの象徴」として出現していることがわかる。もちろんカラスはゴッホに押し寄せてくる「死」にちがいない。死を描いたからこそ、当のゴッホは救われた。それが例え東の間の救いであったとしても。絵画はまずゴッホにとってそのようなものとしてあった。そしてこの絵と真向かう僕たちもまた、この絵画を読み取ることによって、象徴的に言えば、死を、狂氣を、免れることができる。ここには確かに「癒しとしての美術」の役割をかいしま見ることができる。ゴッホが精神病の最初の発作から自殺に至るまでの、1年半の間に描きつづ

けた油彩の数は300点余り。加えて数百点の素描と、弟テオへのおびただしい手紙が残されている。実にはどんと毎日のように作品を生みつづけることで、彼自身が癒されていた証しが、この数字に表れているような気さえするのだ。だからもちろんゴッホは、絵を描きつづけるがぎり、正気でありつづけることができた。このこともまた、地獄ではあるのだが。

カラスに向かって拳銃を

1890年7月27日の日曜日、ゴッホは、弟テオに宛てて次のような手紙を書き始める。

「ともあれ僕は自分の絵に命をかけている。そのため僕の理性は半ば壊されてしまった。——それでいいのだ。…しかしそれが何の役に立つというのだ？」

描きかけの手紙をポケットにしま



フィンセント・ファン・ゴッホ 1853-1891《鳥の飛ぶ麦畑》1890年 50.5×100.5cm 国立フィンセント・ファン・ゴッホ美術館蔵

い、宿を出て麦畑に向かう。画架を担いでいた。どこで手に入れたのか拳銃も手にしていた。「カラスを撃つのだといって、村の誰かから借りた」のかも知らないという。「宿から数百メートル離れた農家の中庭にある堆肥のかげで、フィンセントはわが身を撃った。ねらったのは頭でも心臓でもなく、下腹部であった」

火曜日の午前1時、自殺から36時間後に、ゴッホはオランダ語で「家に帰りたい」とつぶやいて死んでいく。37才と4か月のあまりにも短い人生であった。

僕はゴッホが、空中を舞い降りてくるカラスめがけて一心に拳銃を発射している姿を思い浮かべてみる。自分めがけて近づいてくる「死」を撃ち落としまえば、まだ生きられるかも知れない。絵筆の変わりに拳銃を手にした時、ゴッホは生きることを放棄したのと言えなくもない。



今話題の料理人のいるお店

Hey,dude！最近テレビを見ていてふと感じたのが、料理番組の多さ。タレントさん達が和気あいあいと作る「とても簡単ですから今晩のおかずにどうぞ」一系の、いわゆる『ごちそうさま』的番組から、料理人達が凡人にはとても真似できない技で、ドローなしの真剣勝負を展開する『料理の鉄人』まで…。我々日本人は今、「グルメ」の3文字に見事ハマっている。

特に、先日エミー賞を受賞した『料理の鉄人』は、その高い視聴率もさながら、過去の対戦内容やレシピを本にしたものまで大売れ行きというから、これはまさに料理番組の革命的存在！え、何？「未だ見たことがない」？そんなんじゃ、まだまだ君はdudeにはなれないぞ～お！

◇ ◇ ◇

さて、その番組の中でも過去に2回の対戦を経験し、共に一勝一敗の成績を持つ、和の鉄人・道場六三郎と炎

BRASSERIE 六三郎・

活気あふれる「BRASSERIE 六三郎」の店内

の料理人・周富徳。今や知る人ぞ知るこの2人は、ナンント！赤坂の同じビル内にレストランを持っているとのこと。早速わたくし、皆さんを代表して行ってまいりました。

道場六三郎「BRASSERIE 六三郎」

鉄人の中でも最高の勝率を誇る道場さん。純和風の《銀座ろくさん亭》に対し、ここでは“地球の料理”が味わえる。そのジャンルを問わない食の芸術品は、さすが鉄人！と、納得。

“BRASSERIE”的意味する通り、わいわい気軽な雰囲気で、ちょっと豪華な食事をするのにピッタリのこのお店。去年の6月にオープンしたばかりで、料理から何から全て道場さんのプロデュースにより行われている。器も本人直々に選んだものだそうで、テーブルマットや箸入れの文字も直筆（もちろんコピーしたものだけ）。

店内はオープンキッチンの作りになっていて、厨房に

は15人ものシェフが各自の分担を忙しくこなしている。チーフシェフを務めるのは、道場さんの娘婿さん。女将に「道場さんはよく来るんですか？」と聞くと、「昨日の今頃は来ていたんですけどねー、毎日来られる時もあれば、2週間くらい放っておかれたりもしますよ」だって。昨日来てたぁ!?そ、そんなあ…。くやしい!!

昼会席をいただき、命のダシ入り吸い物や胡麻シャーベットなど、たった一口入れるだけで、もう全てに舌が瞠ってしまう。中でも冷うどんは絶品中の絶品！是非一度お試しあれ。

- ◆ 100席（一食約150人）
- ◆ 要予約（3カ月前より）
- ◆ 昼・¥3,000、¥6,000
- ◆ 夜・¥8,000から

周富徳 広東名菜「璃宮」

地下から照らされたライトに導かれ、道場さんのお店の横の階段を下ると…。「うわあ～」。エントランス前の小庭といい、内装といい（ついでにメニューの値段といい）、まさに贅沢そのもの！本館とガーデンルームとがあり、世界各地を食べ歩き研究した周さんのボーダーレスな広東料理がゆったりスペースで堪能できるようになっている。



中国料理イコール油っぽい、というイメージがあるけど、ここの場合それが全く当てはまらない。鯛の刺身をナツツで和えたものなんて、まさに想像を絶する味！感動の一言。紹興酒を頼んだものの、強すぎてなかなか進まない私を見かねて、「これを絞ると飲みやすくなるかもしれませんよ」と、ウェイターがそっとレモンをくれた。この心憎い気配り！さすが、天下の璃宮って感じ。最後にアンマンと肉まんを買って、店内に飾ってある周さんの写真に一言「ごちそうさまでした…」。

結局、道場さんや周さん本人には会えなかったけど、あの有名な“命のダシ”や“黄金のチャーハン”もいただけのことだし、「う～ん、あたしゃって幸せー」ってつくづく実感した一日でした。満足、満足！【文：真壁仁美】



Book

法隆寺に学んだ宮大工
「木のいのち
木のこころ」
西岡常一著



法隆寺金堂や法輪寺三重塔の再建などを手がけた、明治生まれの宮大工・棟梁の口伝。職人がいなくなり、修業や経験がなおざりにされ、便利さが唯一とされる機械・コンピューター時代への、文明批評ともなっている。

法隆寺は、1300年を経たいまも創建当時の美しさを保っているが、そこには代々の大工の技と知恵の伝承がある。「手の記憶」とも呼ぶべきもので、その奥義が披露される。

たとえば、木を長く生かすためには、木は山に入って探し、成長している方位のまま使うのがよいという。木は成育の場所によって性質が違うから、それを

見きわめ、組み合わせて使うことで、樹齢300年の木は300年もつという。

ところが現代では、木を生かすより使いやすく合理化するために、木の性質や個性を失くし、平均化し、合板にしてしまう。しかし癖に悪いものではなく、生かせば特長になり、使い方次第という。

伐るばかりで無駄に使い、ましてや植えることをしない今日の森林のあり方に苦言を呈する。

「木のいのち 木のこころ」を「人のいのち 人のこころ」と置き換えて読むと、今日の企業や、学校、家庭のあり方がさらに見えてくる。（川）

草思社 刊 ¥1,400

会いたい人から 会いたい人へ
知りたいことから 知りたいことへ
リレーでつなぐエッセイ

かつての遊廓の街 増山町



依田 弘

よだ ひろし
甲府市役所勤務

美しい自然と古い歴史に築かれた甲府市の城北地区に、遊廓の街として栄えた「増山町」という町があつたことをご存じでしょうか。この由緒ある町名も、昭和37年(1962)、新町名として武田三丁目・天神町・美咲二丁目にと変わり城下町特有の町名はなくなつた。

ところで、増山町の由来は、武田信虎が現在の武田神社のあるつつじヶ崎へ館を構え、その周辺に家臣を住ませ、この一画に増山某の屋敷があつたからだという。

増山町が何故、遊廓の街となつたのか。江戸時代に甲州の宿場町として栄えた柳町に旅籠があり、ここに旅人の食事や一夜を勤める飯盛女が働いていた。

時代は変わり、明治3年(1870)、新政府は風紀上の問題からこの旅籠を以前の甲府勤番組屋敷であった増山町へ移転させ公娼の遊廓と定めた。

明治4年(1871)、遊廓の出入口(現在の武田三丁目一番)に大門を建てる。

後の写真を見ると黒色の門柱に電燈を点し、隣には大きな柳の木が植えてある。この情景は、桶口一葉の

名作『たけくらべ』の冒頭「廻れば大門の見返り柳いと長けれど」と書いてある東京新吉原遊廓をおもわせる。

この当時、まだ廊外では違法に売淫を行う者が多く、明治6年(1873)、山梨県の勧業等に実績を残した県令藤村紫朗は厳しい売淫罰則を公布した。

明治12年(1879)、貸座敷業は19軒と増え娼妓も93人。その内、県人23人の女たちが春をひさいでいた。

生きるためとはいえ、生まれ育った故郷で娼妓となりわいとするつらい真情を、はかり知ることはできないであろう。

明治13年(1880)、廊内に「女紅場」が設置された。芸娼妓に裁縫等を教え社会復帰を目指す学校で、開設者の中には本県初の新聞「岐中新報」を発行した内藤伝右衛門の養母である内藤満寿が重要な役割を果たしていた。

明治17年(1884)、貸席は60銭也。当時は、米が一升6銭で大工の日当が2銭程度という時代で庶民には遊廓での遊びは手に出すことの出来ない違い存在であった。

人は去り時は移りて、かって増山という歴史に残る町があった事を知る人は少ない。

1日の遊興人は約150人で灯の消えることのない不夜城の街となっていた。また、外の商いでは、仕出屋・和洋酒屋・質屋・人力屋等があり大いに繁盛した。

明治40年(1907)2月9日午前5時ごろ大門西の福伊藤から出火、折りからの烈風に吹かれ隣接する12の町に広がり焼失戸数254・罹災者1,191人と大きな被害を出した。

幸い、死亡者はいないものの火事のどさくさで娼妓が客と逃亡するなどの騒動もあったという。後にこの火事を上府中の大火と呼んだ。

火災後、遊廓は穴切町(現在の宝一丁目)へ移り、増山町はごく普通の市井となり、以前の華やいだ面影は消えた。

ちなみに、増山町周辺で娼妓と関係の深い場所は、日蓮宗要法寺があり娼妓の合靈碑がある。また娼妓が駕掛けにお参りした稻荷神社や、梅の名所として客と花見に遊んだ梅屋敷跡があるが、今は昔とすっかり姿を変えていると里人はいう。

人は去り時は移りて、かって増山という歴史に残る町があった事を知る人は少ない。

明治30年代、娼妓は100人を超え、

近世陸上運送の歴史をさぐる(4)

<甲府通運のページ>

県下各宿駅で陸運会社設立
しかしわずか2年で消滅する

林 陽一郎

はやし よういちろう
山梨県教育委員会・県史編纂文化財担当



会社申合書 車名、里程、賃料を記し、その内容は全国同一である。

1 867年、明治維新となり、旧幕制度はつぎつぎと改められた。全国の關所の廢止は明治2年のこと、徳川三百年を通して交通運輸手段とされた助郷制度は、地方民衆の負担で維持され、住民たちはその重い負担にたえかねるというギリギリの状態で御維新となつたので、新政府としてもなんらかの対策をたてねばならなかつた。そこで旧宿駅制を基礎として各宿駅をそれぞれ独立運営させることにした。これが「陸運会社」であり、これは強制的に設立された。

明治4年(1871)の東海道をはじめに、山梨県下には5年7月に甲州道中筋に、8月には佐久往還、駿州東往還(石和~黒駒~山中)、富士川沿いの駿州往還、そして中道往還の各宿駅にその設立が認可された。

この新会社の発足により、旧來の伝馬助郷制度は廃止されたがその実体はあまり變りばえがしなかつた。しかし現在、一般的な「会社」というコトバは當時、まったくの新語であり、現地の宿場役人ら関係者にとってこの陸運会社は寝耳に水といふべきである。このように「御上」の指導で設立した陸運会社も、名前は最新だが勤める者は旧幕時代の

メンバーがそのまま居座つたり、利用者の少ない往還などではもとより採算もとれないというのがほとんどという状態から、政府では早々とこの会社に見切りをつけざるをえなくなってしまう。そこで政府は、明治4年に郵便制度を創業して、5年に一切の信書の運送は政府が行なうと、定飛脚問屋の書状取扱いを禁止し、小荷物運送を専業とさせた旧定飛脚問屋らを出資者とした「陸運元会社」へこれらの宿駅を加入させ、運輸の任にあたらせることとなる。こうして明治5年の後半に新出発した各宿駅の「陸運元会社」へと移る。わずか2ヶ月という短い期間しか存在しなかった各駅の陸運会社は政府の思惑どおりの働きをしなかつたが、政府の高官たちは、旧幕制度の助郷を廃止して地方住民の不満を解消する一つの手段として耳あたらしい「陸運会社」を民衆の前にしめし、新しい政府をアピールしたのかもしれない。「陸運会社」はいづれにしても全国的規模の「陸運元会社」に吸収される運命のもとに設立されたような気もするが、真相ははたしてどうだったのだろうか。

<トヨタビスタ山梨のページ>

「ハ～イみんな 車の前に集まってー！
手をつないだらその手を上に高く上げて
ニッコリ笑おうね ハイ ポーズ！」

**学校法人 鹿野苑学園
永照寺幼稚園**

甲府市高畠にある、ここ永照寺幼稚園では、110人の園児と7人の保母さんが毎日所狭しと駆け回っている。

「みんなでお墓の方へ行ってお弁当食べようね～」。え？一瞬自分の耳を疑った。幼稚園の奥の方に目をやると、なんとそこには墓地が。お寺だもの、お墓があって当たり前よね～。しかし、それにしてもすごい環境。きっとこの子達は、肝試しもへっちゃらなんだろうなあ…。

この幼稚園。園長先生は代々お寺のご住職。紙芝居好きの先代が、「亡くなられた方を奉るだけでは寺の意味がない」と、戦後行き場のない子供達を預かったことがきっかけで始まった。昭和46年、息子である吉田永正氏が園長に就任。この時、氏は若干23歳だったという。

以来24年間、人間の命そのものに焦点を当て、人格重視の教育に専念してきた氏は、子供達に理性ではなく、感性を大事に生きて欲しいと語る。「砂遊びが十分にできない者に、ショパンは弾けない」。ここではピアニカ

やワークブック等は一切用いず、感性を磨いて人間を見つめ直すための教育が日々行われている。

また氏は、本業の住職や、幼稚園経営の他に「救助活動

とホスピスケア、教育に残された余命を」と、ボランティア活動にも精を出す。「もうからない、汚い、人がやらないことは徹底的にしますよ」。今までにもソマリアや阪神大震災の被災地に赴いては率先して救助活動を行ってきた。「たとえ宗教が違っても助けねば。他の命の営みのために我々人間が貢献できることだったらなんでもしますよ。やらないのは嘘つきと人殺しだけ」。その口調は素晴らしく堂々としたもの。いやはや、ご立派！

奥さん曰く「忙しいだけが取り柄



なんですよね」。しかし子供達とのスキンシップは決して忘れない。園児達にとっての氏は、園長先生でもあり、送迎の幼児バスの運転手さんでもあり、はたまたピアノを弾く年長組の副担任先生でもある。

「あっ、これつぶれちゃってるよ～」。鶴の卵が割れているのを、墓地に行く途中の園児が発見する。園庭の隅で倒っている鶴が今朝産み落としたものらしい。

園児達はここで、自らの手で育てた動植物から命の尊さを毎日身を持って学んでいる。

インフォメーション

<トヨタビスタ山梨のページ>

HAPPY 15th ANNIVERSARY!
ビスタのお店は豊富な車種の
ラインナップで大盛況



トヨタビスタ山梨では、さる2月18、19日の両日、「15周年記念フェア／大感謝祭」を大々的に開催した。

同イベントの特別謝恩価格は、「普段、とてもそこまで値引きできない、というような価格。皆さんビックリされるんじゃないでしょうかね～」と、担当者が自負するほど。各車種の、ズラリと並んだ価格表には「売れ切れご免！」の文字が。

さらに、このイベント中に新車を購入すると、昭和年式の車が超お得な下取り価格で出せるなど、至れり尽くせりの大奉仕。また、来場客には各種プレゼントを用意し、タコ焼きや焼きソバなどの屋台も設置して大好評。

一番売れたのは、この度モデルチェンジされたばかりの新型ターセル。なんと、2日間で33台を受注。2番目以下は、クレスタ、ビスタ、カレンの順。当初60台の受注目標が、終わってみたら110台と、まさに大盛況のうちに幕を閉じた。来場者数も1,500人を越え、全社員総出で実施した甲斐があったというもの。

これにあやかり、3月の11、12日にはCRイベントを実施。お買い得

車の設定に加え、この時のマル秘目玉プレゼントは金券5万円分。お得な特別価格に、さらに5万円値引きするというものです。

3月は一年のうちでも一番車の売れる時期。通常の月の倍近くは出るという。前回のイベントが大成功に終わったため、再び期待がかかる。今回の企画も、前回以上に目が離せない、画期的なイベントに来場客からの反響も大きかった。本社の企画担当者は、「予想以上の盛況に驚いて

います。これからもお客様に喜んでいただけるイベントを考えます」と、無事15周年を終えて、その喜びも一層。

経済不況とはいえ、今がちょうど新しい車に買い替えるいい時期なのでは？「タイミングが良かったんでしようね」。担当は謙遜して言うが、でもタイミングだけでは決して車は売れない。日頃のサービスとお客様本位の企画が、今回の2つのイベントを成功に導いたのだろう。



来場者へのプレゼントにおもわずニッコリ

自宅と仕事場の2棟同時施工で
うれしさも2倍!
ワイドな窓を配した理想的な家づくり



う金子昭仁さん。ただ者ではない。ご主人は、恵相調整医学（金子恵相院）を開業しているバランス調整士さんで、職場である恵相院を自宅のすぐ前に建て、同時施工。自宅も仕事場もできるだけ窓の数を多くして、室内をより明るく風の通り抜けを十分に考えた所は、さすが身体に良いことを知っているバランス調整士さんならではの工夫と知恵。

そんな金子さんとトヨタホームとの出会いは、知人の紹介で。確かな技術と高い信用があってこそその推薦だ。家づくりにこだわりをもつご主



陽あたりのよい明るいリビングルームは家族の憩いの場所

<トヨタホーム山梨のページ>



あきひと すみこ
金子昭仁・澄子さん（一宮町）

「トイレを広くするとお金がはいる」、家づくりのポイントについてうかがった第一声である。

家族の幸せを考え、家相にもこだわり、吉とされる方角の間取りを取り入れ、設計まで自分で考えたとい

人は、文句なしでトヨタホームに。県内のモデルハウスはもちろん、関西方面のモデルハウスまで見学して、雨戸のない『フォーレ』につよく惹かれた。「雨戸をしめるわざらわしさをなくし、少しでも家族の負担を減らしたい」というやさしさの決断だ。雨戸代わりのシャッターは『フォーレ』の特長。そして、もうひとつの大きな魅力は構造と短い施工期間にある。鉄骨ユニット工法なので頑丈さに定評があり、2カ月という短い施工期間は自宅での仕事をもつご主人や家族にとって家づくりが負担にならない嬉しいメリットだった。

室内はハイユニット仕様で、2.6メートルの高い天井と窓が、ゆったりとした空間がやすらぎを創りあげている。玄関ホールのスペースもすっきりと広く、訪れた人に開放的な印象を与える。ワイドな窓を配したリビングルームは、家族団らんの大切な場所と語

るご主人。「間取りや方角、いいとされることはできるだけ取り入れましたけど、子供の成長に合わせた家づくりの時期を見極めるのも大切だと思います」と微笑みながら語ってくれたご主人と奥様。納得のいくマイホームを手に入れた満足の笑みは最高。

1階と2階のトイレを広くすることからはじまったご主人のマイホーム構想は、奥様と娘さんたちの笑顔で終止符を打ったようだ。家族の断絶が社会問題となっている昨今、金子邸は家の隅々にまで春のようなあたたかい愛情に満ちあふれていた。

〔文：清水広子〕

阪神大震災でもトヨタホームは倒壊崩壊がなかった

<トヨタホーム山梨のページ>



超 高層ビルにも採用されている鉄骨ラーメン構造。その堅牢な構造を取り入れているのがトヨタホームです。

ラーメンとはドイツ語で”骨組み”を意味し、構成している鉄骨の柱と梁が強力に固定され、各部材の成す角度が変わらない構造の事をいいます。その超高層ビルにも採用されている理想的な耐震構造を、ひとつひとつユニットで形づくっているのがトヨタホームの「鉄骨ラーメンユニット工法」。トヨタホームがこの工法を採用した理由は、「強い構造」であることに加え、工業化住宅の中で最も工場生産化率が高められることによる「徹底した品質管理」など、さまざまなメリットをもたらす工法だからです。鉄骨ユニットが組まれたトヨタホームでは、各方向から加わった力は、梁から柱、そして基礎へとスムーズに伝達。外力をワンボイントで耐えるのではなく、建物全体でバランス良く吸収する、優れた「強靭さ」と「柔軟さ」をいかんなく發揮する工法—それがラーメンユニット工法です。

建設省の「新耐震設計基準」をす

べてクリアしているトヨタホームは、関東大震災クラスの大地震にも余裕の強さを発揮する強い家です。

実際に、まだ記憶に新しい、阪神大震災でも、震源地となった淡路島の洲本市と三原、津名郡の三ヶ所で、これまでに合計22棟

の建て売り住宅（ユニット）を供給していましたが、一部に軽微な被害（クロスの亀裂、玄関ポーチの変形、ドアの変形）があったものの殆どの建物は全く被害を受けていませんでした。また、被災地

に建つトヨタホーム約600棟も、倒壊等の損傷はありませんでした。このことからもトヨタホームの地震に対する強さが実証されます。

トヨタホームでは火の回りから住まいを防ぐため、屋根には彩色セメント瓦などの不燃材を採用し、軒裏にも特殊セメント系防火サイディングボード（13mm）を使っています。万一、住まいの内部から出火してしまった場合、住まい全体に火を貫通させない工夫で被害を最小限にとど

めることができます。1階と2階の間に、ファイアーストップを設け、火をくい止める形状となっていて、各部屋の間での延焼を最小限に抑えることができます。トヨタホームは、これらの火を寄せつけないためのさ



まざまな装備で近隣の火災などに対して万全の防火性を発揮します。

平成4年6月16日、茨城県守谷町で花火工場の火薬庫が爆発する事故がおきました。この事故で現場の周囲約2kmにわたり民家や会社事務所などの建物が延焼したり、壊れるなど、大きな被害となりました。この現場からほど近いところでトヨタホームが建てられていましたが、窓ガラスの一部にヒビが生じた程度でほとんど無傷でした。〔文：真壁仁美〕

おしゃれ フラワーギャラリー甲斐



ドライフラワーの
品揃えは県下最大級です！

春一ースプリング。爛漫に咲き誇る花々が、観る人の目を楽しませてくれる季節の到来です。

ここ、塩山警察署のすぐ近くにある『フラワーギャラリー・ガーデン甲斐』の自慢は、豊富な品揃え。国内外から仕入れた生花や鉢花、観葉植物、ハーブ、ボブリ、ドライフラワー、ファンシーグッズ等、一年中どんな植物でも入荷が可能です。

花の香りと店員の方の、明るい雰囲気でいっぱいにつつまれた店内。つい二度三度と足を運びたくなってしまう、そんなお店です。塩山店の他にも山梨市に2店あり、仕入れたばかりの花々を社長自ら各店へ配達しています。4~5月はパンジーやマリーゴールド等の苗モノが多種入荷されるとのこと。ぜひ一度、チェックしてみる価値あり！

各種イベントにはうってつけの色彩豊かな花たち。恋人や家族のバースデイに年の数だけ贈る、なんて心憎い演出も、きっと喜ばれますよ。

トヨタピスタ山梨：萩原 香織

営業時間 8:30~19:00

定休日 年中無休

(但し、元旦を除く)

所在地 塩山市西広門田45-1

TEL 0553-32-0087

ドライフラワーの作り方やフラワーアレンジメント等、各種教室も開設。

興味のある方は、お電話を……！



たべる サザンカ



営業時間 11:30~13:30

17:00~21:30

定休日 火曜日

所在地 中巨摩郡昭和町西条1124-2

TEL 0552-75-3936



さすが、専門店のハンバーグは
ひと味もふた味もちがいます

県内ではめずらしいハンバーグ専門店『サザンカ』。まず、メニューを見てびっくり。食べたことのないハンバーグがズラーリ、さすが専門店です。5年前までは、普通の洋食屋さんとして営業、その時にハンバーグが一番人気で「それなら、いっそのこと専門店として再スタートしよう。」とオーナーシェフの若林さんは、お店の個性をいかしたレストランを目指し一大決心をしたそうです。

今では、女性同士のグループや若いカップルなど店内はいつも賑やか、楽しいおしゃべりであふれています。一番人気はチーズハンバーグだと、トローリーとろけるチーズと手ごねハンバーグの絶妙な味わいは天下一品。また、オーナーのオススメはにんにくハンバーグ。来年の4月頃には、新店舗オープンのため移転を予定しているとか。お店も広くなりメニューもよりパワーアップするそうです。その前に一度、今のメニューを制覇しておいてね。

早野組総務部（営業担当）：酒井 正子

PHOTO EYE 浅川 輪

カメラマン

柔らかな春の日差しに誘われて
ピクニック気分で梅園に足を運んでみた。
枝にはもう蕾がほころび始め。
薄紅の花びらちらほら…。
東風の冷たさもここでは心地よい。

ベンチで昼食をとる若いカップルの、
春の訪れが近いことを予感させる雰囲気が、
この梅園の香りから感じられるのは私だけだろうか…。

「春告げ花」

とはよく言ったものだ。
とすれば、二人の「春告げ鳥」は
いつ鳴ってくれるのだろう……。

春近し

くらしのなかの
感動さがし

撮影場所/甲府市
天候/晴れ
撮影データ/ニコンF3
ニッコールレンズ85mm/m F1.4
1/250, F5.6
フィルム/T-MAX100

某月某日

阪神大震災について考えた

1月17日それは起こった
確実を求めて築き上げたものが
実は不確かであったことのショック
いまさらながらに活断層地図を見せられても…
合理的にエゴイズムをまとめ帰納的な考えを捨て
演繹的に物事を見つめるところから再建のプロセスが始まる



何 時か何処かでと言われていたが、マグニチュード7.2、震度7の直下型大地震が兵庫県南部を襲った。近代化の進んだ都市を象徴するかのような、高速道路や新幹線を無残にも突き崩し、ビルやマンションなどの建物も次々と破壊した。そして、2次災害とも言える火災。次々と火の手が上がり、黒煙が立ちのぼり、震災の被害を大きくした。

その様子がテレビ画面を通して、我々の予想を大きく上回る規模で伝えられた。まさに大惨事だった。私事になるが、被災地の光景を見ていた3才の息子が「大変だ、大変だ。早くウルトラマンを呼ばないと…」と叫んだ。その声が大きな危惧とともに今でも脳裏に残っている。実働部隊としてのウルトラマン、それを呼ぶ通信。パニック状態の中で3才の子供でさえ咄嗟に思いつくことがー“何故だ”ー異常なものを感じた。

被害の大きさは発生から1時間で決まるという。対応次第では致命傷になりかねない。2次的災害を最小限に食い止めるためには、強力な権限を發揮し舞台裏で活躍するウルトラマンー地方団体の存在が不可欠だ。

今回の兵庫県や神戸市などは自衛隊との連携、意志疎通に、また危機意識にギャップがあったように思う。

しかし、自然災害への対応、危機管理は千差万別。完全なマニュアルなんてありはしない。ましてや混乱を来たした中では、平常時の訓練以上のことはできない。体制が整備されていても、機能しないものだ。その意味では、阪神大震災はどんな学術的な講義よりも説得力があった。月並みな言い方だが、大切なことは如何に生かしていくかだ。

便利さを享受してしまった現代社会は、危険に対し余りにも無防備で、純感になってしまっていた。防災訓練もまたセレモニー化し、備えを怠ってきた。奇襲型の災害はどう対処したら良いのか、過去の災害事例とも照らしながら、最悪の事態を想定し、対処方法をマニュアル化する。新しい災害が発生したなら、それを補強していく。そういうシステム、ソフトの整備が肝要だ。そして、不斷の危機意識の涵養、徹底が問われる所以である。一企業においても変わりはない。

都市型災害は救援に立ち上がるべ

きトップ組織の壊滅、情報通信網の遮断も予想される。被災した多くの企業が自社だけの防災強化の限界を訴えていたが、そんな中にあって、十全なる準備とは言えないまでも、マニュアルを持って成果を上げた企業もあった。報じられたところでは、セブンイレブン、ダイエー、三洋電機などがある。分社体制にあって各現場責任者が、危機管理の灾害マニュアルに沿って迅速に判断、行動したという。

さて、復興への選択だが、先ずはスピードが求められる。破壊された地域を前に、時間だけをむやみに浪費してしまうと、企業も人も逃げ出してしまう。そうなると地価は下がり、再建のための投資に関心がなくなる。さらに言えば、それは阪神地域、被災企業だけの問題にとどまらず、日本全体の存亡に関わるところまで影響を及ぼす。試行錯誤は避けは通れないだろうが、国民みんなの共通意識を生み出すことから始め、先鞭をつけてもらいたい。

それが今後、必ずや発生するだろう複合型都市大災害の備えとなるのだから。

【文：新海 級】